

# まちのわだい

## 海峡越えて一騎討ち!

東北・北海道対抗柔道大会を開催

東北、北海道の強豪選手が誇りを懸けて真っ向勝負を繰り広げる第61回東北・北海道対抗柔道大会（東北柔道連盟など主催）は10月5日、久慈市民体育館で開かれました。長



生徒からの声援を受け強豪相手に奮闘した小原さん(右)内中学校教諭で柔道部顧問の小原俊さん、久慈高校出身で秋田大学2年の下平佳子さんも東北軍の一員として出場。地元の声援を受け北海道軍の強豪相手に奮闘しました。

20人対抗の男子団体戦は東北軍が12勝8敗で11年ぶりに優勝。6人対抗の女子団体戦も4勝2敗で東北軍が優勝しました。本大会が本市で開催されるのは初めて。来年は北海道札幌市で開催されます。



ずらりと並んだ出店に集まる人、人、人!



超お得! おいしい玉ねぎの詰め放題も



5人のアナウンサーが地デジの魅力や視聴方法を分かりやすく説明しました



「これおいしいね」。地元の美味を味わうと自然と笑顔が広がります

## おいしい! 楽しい! 大にぎわい!

久慈地方産業まつり・地デジ準備全国キャラバン

海山里のおいしい恵みやお買い得の品々が大集合した久慈地方産業まつり（同実行委員会主催）は10月11日、12日、アンバーホール周辺で開催。ホタテ釣りやチェーンソーアートなど多数の催しも行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

同日、地デジをPRする地デジ準備全国キャラバンも開催。11日には、県内テレビ局のアナウンサーが地デジの魅力や視聴方法を説明しました。

地デジの視聴体験をした岸里尚弥くん（小久慈小4年）は「すごい迫力。テレビがもっと楽しみになった」と笑顔。お母さんのるみ子さんは「今テレビの買い替えを考えている。やっぱりデジタル放送は違いますね」と理解を深めていました。

産業まつり「生活まつり」のカボチャ計量クイズ正解は14.6%でした。応募総数407通のうち正解者4人と、正解に近かった14人に記念品を贈ります。

### 広報リポーターがまちの話題を紹介します!

#### 武道で競う!



元気な声で健闘を誓った選手宣誓

10月13日、市民体育館で久慈地区ふれあい柔道・剣道大会（同実行委員会主催）が開催。小学生から高校生までの児童・生徒約320人が父母らの大きな声援を受け、日ごろ鍛えた技を競い合いました。（生平隆リポーター）

#### 研修で防災意識高まる



地震体験室で大きな揺れを体験した団員ら

市消防団（門ノ澤正浪団長）ら約90人は10月19日、大船渡市で行われた県総合防災訓練の視察研修を行いました。岩手宮城内陸地震の反省を生かした大規模な訓練を研修し、団員らは防災の大切さを再認識していました。（小倉利之リポーター）

## 防犯みんなで見守って

ちびっこ防犯隊員任命式・青色防犯灯設置



元気に防犯を呼び掛けた防犯隊員。左から落安亜美ちゃん、石井達也くん、中野真那ちゃん、佐藤恵人くん

■ちびっこ防犯隊員任命式■ 10月8日、やませ土風館で同任命式が行われました。隊員に任命されたひばり保育園（岡野直子園長）の園児4人は「みんなでわたしたちを見守って」と防犯を呼び掛け。防犯協会の会員ら約60人と手分けして、市日通りで防犯の啓発活動も行いました。

■青色防犯灯設置■ 犯罪抑止効果があるといわれる青色の防犯灯が天神堂に10基設置されました。設置は県内3番目で、駅東口駐輪場にも青色の蛍光灯を10本設置。児童への声掛け事案が多数発生している天神堂、生徒らの利用が多い駅東口駐輪場の防犯が強化されました。これらは全国地域安全運動（期間10月11日～20日）の一環です。

## 力を合わせて遊覧船

滝ダム周辺利活用推進協議会を設立

全国でも珍しい海の見える「滝ダム」の利活用を進める滝ダム周辺利活用推進協議会が10月15日、設立しました。同日、市役所で行われた設立総会にはダム周辺の町内会や観光、環境団体などから15人が出席。協力してダム湖で遊覧船を運航することを決定しました。会長には平成17年、18年に同ダム湖で運航した遊覧船を所有する㈱ヒカリ総合交通の鹿糠光男社長が選出されました。

今回決まった運航内容は次のとおり。▶運航期間＝11月6日（木）～12月7日（日）※平日は予約制▶運航時間＝10時、11時、13時、14時、15時（1運航あたり40分程度）▶乗船料＝中学生以上700円、小学生以下500円、幼児無料。乗船予約など詳しくは㈱ヒカリ総合交通（☎52-3333）へ



満場一致で会長に選出された鹿糠光男氏(左から1番目)

## 陶器目当てに人集う

小久慈焼で秋の感謝祭を開催



恒例の窯出しオークション。見事な陶器を競り落とそうと、参加者の熱が入ります

小久慈焼秋の感謝祭は10月4日、5日、小久慈焼陶芸苑で開催されました。会場内テントには100円のカップや通常の半額の品がずらり。驚きの価格の陶器に大勢の観客が見入っていました。

小久慈焼の登り窯は7月24日の岩手北部地震で被災。両日開催された恒例の窯出しオークションには、窯の修復後初めて焼き上がった約500点の陶器が出品されました。

4日のオークションで定価10万円相当のつぼを、この日の最高額20,500円で競り落とした竹田孝さん（盛岡市）は「最初からこのつぼを狙っていた。形や質感がとても良い。家の宝にしたい」と満足げな表情を浮かべて喜んでいました。

広報リポーターを引き続き募集します。皆さんもまちの話題を紹介してみませんか? 詳しくは、まちづくり振興課（☎52-2116）へ。ご連絡お待ちしております。